



農繁期に農家の農作業を手助けする同ボランティアを募集します。市内在住で

農作業に興味があり、養成のための研修に3年間参加できる方が対象です。

研修は、原則として毎月第1・3水曜日の13時30分から、市内の農地で行います。指導するのは農協の指導員で、1年目は農業の基本を、その後2年間は実践生として実践的な農業技術を習得します。野菜の種まき・定植・収穫指導のほか、同ボランティア派遣の

援農ボランティア養成講座6期生

緑豊かな自然環境の中で営まれる農業。その魅力や面白さ、大切さを知ることができるボランティア養成講座や農業体験を実施します。豊かな実りにふれながら、喜びを味わってみませんか。

募集

援農ボランティア講座受講生
農業体験参加者

豊かな実りに
喜びひとしお

問 農業振興課
☎70・5622



ノウハウ習得や農家に出向いての実作業もあります。修了後は同ボランティアに認定され、農家からの依頼に応じて農繁期に農家へ派遣されます。定員10人(抽選)。☎4月1日までに同課へ電話。

農産物直売所は地産地消の身近なスポット

市内の直売所では、安全で安心、生産者の顔が見える、地場産の採れたて野菜や鶏卵、豚肉などを直売しています。新鮮な採れたて野菜を食卓にどうぞ。

名称	開催日	所在地	電話
あやせ農産物直売組合綾西支店	毎週木曜日 14時～16時30分 4月から毎週火・金曜日14時～16時 (7月～9月は15時～17時)	綾西3-5-2 (JAさがみ綾西支店敷地内)	79-0003
愛菜市	毎週日曜日 11時～売り切れ次第終了	早川677 (農協集出荷場)	
グリーンセンター綾瀬	第3水曜日定休日 9時～17時 ※4月12日(金)オープン	深谷中3-4-5 (JAさがみ綾瀬宮農センター敷地内)	79-0808
フレッシュマーケット	毎週水曜日 11時～14時	早川677 (農協集出荷場)	79-0001
てらおの直売所	火曜日定休日 10時～18時	寺尾西3-11-27	81-3624
旬菜みのりファーム	毎週火・木・土曜日 10時～15時	大上9-9-9	090-4437-3981

※すぐに売り切れる場合があります



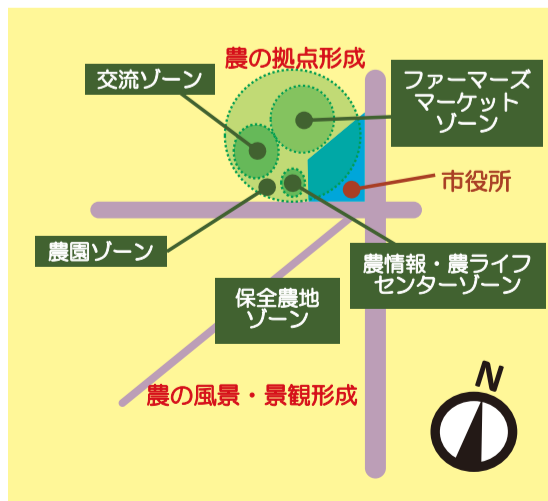
市内の畑で、農作物(トウモロコシ・サツマイモ・ダイコン・キャベツなどを

親子ふれあい農業体験

市内在住の親子(小学生以下)で、積極的に参加できる方が対象です。定員親子30組(抽選)。☎2000円。☎3月29日までに同課へ電話。

市内の畑で、農作物(トウモロコシ・サツマイモ・ダイコン・キャベツなどを)の種まきから管理・収穫までを4月～12月の9カ月間、親子で体験します。農作物育成の難しさを学び、収穫の喜びを味わうものです。市内の農業に目を向け、地産地消や生産方法などを学ぶ絶好の機会です。収穫時には収穫祭も予定しています。

アグリパークの機能構成 (イメージ)



同構想は、市役所周辺に観光農園や体験農園、直売所、地場産レストランなどを備えた農業の拠点づくりを進めるものです。23年度から懇談会や検討会などで

農業者の真摯な取り組みとたゆまない努力、さらには市民の理解・協力が綾瀬の農業を支えます。皆さんも、イベントや体験などさまざまな機会を通じて、農業に親しんでみませんか。

22年度に策定した市産業振興マスタープランでは、農業の将来像を「都市の貴重な財産である農業を、地域社会全体で育み継承する食農創造都市」と定め、農業振興の重点目標に「都市と農がふれあうアグリパーク構想の推進」を掲げました。

協議を重ね、昨年12月にはアグリパーク基本構想を策定しました。さらに今年度はアグリパーク推進協議会を設置し、事業・管理運営計画案などを協議しながら、同構想の実現案を検討しています。

食農創造都市の実現へアグリパーク構想推進

都市の中で営む農業に必要なのは住民の理解

昨今では、都市化の進展や労働力の減少など、綾瀬の農業を取り巻く環境は大きく変化してきています。こうした状況に対応するため、農家では都市近郊の立地を生かした野菜・果樹・苗木の栽培のほか、多頭飼育による経営の合理化や特

産の豚を使った名産品の開発など、積極的な取り組みを進めています。

都市の中で農業を営むためには、地域の皆さんの理解が必要不可欠です。市では、多くの方に農業を知ってもらおうと、ふれあい農園の開設や農家体験留学などを実施しているほか、農産物の直売などを支援しています。